

平成22年5月期 第1四半期決算短信

平成21年10月9日

上場取引所 東

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社
 コード番号 2459 URL <http://www.auncon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成21年10月14日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 信太 明
 (氏名) 坂田 崇典

TEL 03-5803-2727

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第1四半期の連結業績(平成21年6月1日～平成21年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第1四半期	634	△49.7	△69	—	△70	—	△18	—
21年5月期第1四半期	1,262	—	94	—	99	—	62	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第1四半期	△254.26	—
21年5月期第1四半期	867.86	831.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第1四半期	1,760	1,359	77.0	18,711.74
21年5月期	1,825	1,410	76.8	19,363.35

(参考) 自己資本 22年5月期第1四半期 1,355百万円 21年5月期 1,402百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	0.00	—	400.00	400.00
22年5月期	—	—	—	—	—
22年5月期 (予想)	—	0.00	—	300.00	300.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年5月期の連結業績予想(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	1,365	△41.5	△59	—	△27	—	△26	—	△360.29
通期	3,042	△19.8	108	37.4	140	68.9	109	—	1,508.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年5月期第1四半期	72,428株	21年5月期	72,428株
② 期末自己株式数	22年5月期第1四半期	一株	21年5月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年5月期第1四半期	72,428株	21年5月期第1四半期	71,923株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき弊社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございますので、この業績予想に全面的に依拠しての投資等の判断を行うことは差し控えてくださいますようお願い申し上げます。なお、上記予想に関する事項は3ページ【定性的情報・財務諸表等】1.連結経営成績に関する定性的情報をご参照ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産など一部、下げ止まりの兆しが見られるものの、雇用情勢は引き続き厳しく、個人消費も低調に推移しております。そのため、多くの企業においては、広告宣伝費等を抑制する傾向が継続しております。

当社グループを取り巻くインターネット広告市場は、引き続き成長は続けているものの、従来よりもその速度はゆるやかになってきております。

このような中、当社グループは事業構造の転換を最も重要な経営課題と認識し、様々な施策を積極的に行ってまいりました。まず、従来からの検索エンジンマーケティング (SEM) によるコンサルティングサービスにおいては、販売促進用途のみならず、他の分野におけるサービス開発にも注力し、ラインナップの拡大を図ってまいりました。平成21年6月8日にはHR ソリューションズ株式会社との間で業務・資本提携を行い、同社の株式3.0%を取得いたしました。人材採用における企画設計から選考以降の進捗支援まで、ワンストップで支援する同社との提携により、人材採用に関わる領域において、SEMコンサルティングサービスを提供していく土壌を整備することができました。

また、平成21年7月13日には子会社である株式会社アート・スタジオ・サンライフをアウングローバルマーケティング株式会社と社名変更し、英語・中国語などを中心とした多言語によるSEMも同社にて提供できる体制を整えたことにより、クリエイティブのみならず、多言語によるマーケティング支援まで事業の範囲を広げることができました。

当社グループの提供するサービスの付加価値向上と事業における効率性追求のため、子会社であるアウン沖縄ラボラトリーズ株式会社およびAUN Thai Laboratories Co., Ltd. の機能を拡大してまいりました。人的交流もさらに進め、両社の生産性向上および品質向上による収益体制強化が実現し、価格競争激化に対する体制が強化されました。

上記のような取り組みを行ったものの、主要クライアントの受注減少は、引き続き損益状況に大きな影響を与えることとなりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は634百万円（前年同期比49.7%減）、営業損失は69百万円（前年同期は営業利益94百万円）、経常損失は70百万円（前年同期は経常利益99百万円）となりました。また、本社移転に伴う移転補償金82百万円を特別利益に計上するとともに、移転費用18百万円を特別損失に計上した結果、四半期純損失は18百万円（前年同期は四半期純利益62百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りです。

<SEM事業>

SEMの用途開発を進め、販売促進分野以外においても、付加価値の高いサービス提供に取り組んでまいりました。HR ソリューションズ株式会社との連携により、人材採用用途関連のサービスを開発し、新たな市場の開拓を行ってまいりました。また、主力商品である検索エンジン最適化 (SEO) は、PCおよびモバイルにおいて、引き続き新商品の開発など積極的な取り組みを行っております。さらに、当社グループはより高い付加価値の提供と効率性を目指すべく、アウン沖縄ラボラトリーズ株式会社およびAUN Thai Laboratories Co., Ltd. の安定稼働を進め、日本語のみならず多言語での業務品質の向上とコスト構造の転換を引き続き進めてまいりました。SEOおよび検索連動型広告・コンテンツ連動型広告 (P4P) においては堅調に推移してはいるものの主要クライアントの受注量の減少を補うことができず、当事業の売上高は565百万円（前年同期比51.7%減）、営業損失は32百万円（前年同期は営業利益79百万円）となりました。

<クリエイティブ事業>

当社グループの強みである英語・中国語・日本語など多言語によるWebサイト制作やカタログなどのグラフィック制作において、着実に受注を獲得しております。クリエイティブ事業においても、SEM事業と同様にアウン沖縄ラボラトリーズ株式会社およびAUN Thai Laboratories Co., Ltd. との連携を進め、高品質なアウトプットを効率的に制作する体制を整備してまいりました。ネイティブライターによるコピーライティングと翻訳事業の相乗効果も現れ、オペレーション体制の効率化が進展しております。

しかしながら、大手クライアントの広告宣伝費抑制の影響を受け、キャンペーンの規模が縮小したため、当事業の売上高は74百万円（前年同期比20.1%減）、営業損失は36百万円（前年同期は営業利益14百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.9%減少し、1,342百万円となりました。これは、主に配当金の支払や借入金返済による現預金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて8.8%増加し、417百万円となりました。これは、主に本社移転に伴う有形固定資産の増加によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、358百万円となりました。これは、主に短期借入金の返済によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.2%増加し、ほぼ横ばいの41百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.6%減少し、1,359百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の期末残高は782百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、2百万円（前年同期は144百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失7百万円、のれん償却費13百万円、売上債権の減少36百万円、移転補償金82百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、98百万円（前年同期比68.9%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出26百万円、投資有価証券の取得による支出10百万円、敷金保証金の支払による支出61百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、64百万円（前年同期比35.4%減）となりました。これは主に、短期借入金の返済による減少40百万円、配当金の支払22百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績に関しましては、堅調に推移しているため、平成21年7月13日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	800,244	966,192
受取手形及び売掛金	295,179	332,018
仕掛品	11,813	10,422
未収還付法人税等	104,016	104,016
未収入金	124,740	—
繰延税金資産	1,776	66
その他	11,890	34,459
貸倒引当金	△6,834	△5,291
流動資産合計	1,342,826	1,441,884
固定資産		
有形固定資産		
建物	18,409	13,314
減価償却累計額	△628	△7,491
建物（純額）	17,780	5,822
工具、器具及び備品	40,734	38,218
減価償却累計額	△24,469	△29,214
工具、器具及び備品（純額）	16,265	9,004
有形固定資産合計	34,045	14,827
無形固定資産		
のれん	155,686	168,754
ソフトウェア	39,916	41,021
その他	2,146	2,146
無形固定資産合計	197,750	211,922
投資その他の資産		
投資有価証券	55,447	47,752
敷金及び保証金	79,056	43,382
繰延税金資産	48,835	62,755
その他	2,105	2,854
投資その他の資産合計	185,445	156,744
固定資産合計	417,241	383,493
資産合計	1,760,068	1,825,378

アウンコンサルティング(株)(2459)
平成22年5月期 第1四半期決算短信

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	192,985	182,738
短期借入金	—	40,000
1年内返済予定の長期借入金	4,352	5,351
未払費用	51,716	55,946
未払法人税等	7,042	1,558
未払消費税等	11,990	17,768
前受金	22,667	17,487
受注損失引当金	1,214	306
繰延税金負債	997	2,752
その他	65,599	49,228
流動負債合計	358,564	373,136
固定負債		
長期借入金	4,750	5,500
退職給付引当金	24,971	23,724
その他	12,200	12,200
固定負債合計	41,921	41,424
負債合計	400,485	414,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	339,576	339,576
資本剰余金	470,576	470,576
利益剰余金	546,301	593,688
株主資本合計	1,356,453	1,403,840
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△744	△421
為替換算調整勘定	△455	△970
評価・換算差額等合計	△1,200	△1,391
少数株主持分	4,329	8,367
純資産合計	1,359,583	1,410,816
負債純資産合計	1,760,068	1,825,378

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
売上高	1,262,609	634,867
売上原価	966,915	502,218
売上総利益	295,693	132,649
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	201,375	201,754
営業利益又は営業損失(△)	94,318	△69,105
営業外収益		
受取利息	888	270
補償金収入	2,380	—
解約手数料等	—	63
未利用チケット収入	—	462
その他	2,324	8
営業外収益合計	5,594	804
営業外費用		
支払利息	221	515
為替差損	—	99
投資有価証券評価損	—	1,649
その他	53	96
営業外費用合計	274	2,362
経常利益又は経常損失(△)	99,637	△70,663
特別利益		
貸倒引当金戻入額	734	—
移転補償金	—	82,551
特別利益合計	734	82,551
特別損失		
固定資産除却損	—	549
事務所移転費用	—	18,867
特別損失合計	—	19,417
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	100,372	△7,529
法人税、住民税及び事業税	32,639	4,762
法人税等調整額	5,323	10,704
法人税等合計	37,963	15,467
少数株主損失(△)	△10	△4,581
四半期純利益又は四半期純損失(△)	62,418	△18,415

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	100,372	△7,529
減価償却費	7,764	4,602
のれん償却額	45,595	13,067
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△734	1,543
退職給付引当金の増減額(△は減少)	592	1,246
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	908
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,121	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,649
受取利息及び受取配当金	△888	△270
支払利息	221	515
移転補償金	—	△82,551
固定資産除却損	—	5,731
売上債権の増減額(△は増加)	86,306	36,838
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,573	△1,400
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,095	10,247
その他	26,030	12,951
小計	238,712	△2,448
利息及び配当金の受取額	888	270
利息の支払額	△221	△515
法人税等の支払額	△95,011	△104
営業活動によるキャッシュ・フロー	144,368	△2,797
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△350	△400
定期預金の払戻による収入	—	1,910
投資有価証券の取得による支出	—	△10,000
有形固定資産の取得による支出	—	△26,648
無形固定資産の取得による支出	△1,985	△1,800
子会社株式の取得による支出	△59,943	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△61,679
その他	3,897	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,381	△98,617
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,000	△40,000
長期借入金の返済による支出	△1,166	△1,749
株式の発行による収入	66	—
配当金の支払額	△54,688	△22,932
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,788	△64,681
現金及び現金同等物に係る換算差額	△220	1,057
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	37,978	△165,038

アウンコンサルティング株(2459)
平成22年5月期 第1四半期決算短信

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
現金及び現金同等物の期首残高	814,752	947,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	852,730	782,076

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）

	SEM事業 (千円)	クリエイティブ事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,168,836	93,772	1,262,609	—	1,262,609
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	872	—	872	(872)	—
計	1,169,709	93,772	1,263,482	(872)	1,262,609
営業利益	79,879	14,438	94,318	(—)	94,318

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主なサービス

(1) SEM事業・・・SEO、P4P、その他

(2) クリエイティブ事業・・・Webサイト制作、紙媒体制作

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

	SEM事業 (千円)	クリエイティブ事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	561,910	72,957	634,867	—	634,867
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,487	1,979	5,466	(5,466)	—
計	565,397	74,937	640,334	(5,466)	634,867
営業損失(△)	△32,364	△36,731	△69,096	(9)	△69,105

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主なサービス

(1) SEM事業・・・SEO、P4P、その他

(2) クリエイティブ事業・・・Webサイト制作、紙媒体制作

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 仕入実績

当第1四半期連結累計期間における仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	仕入高 (千円)	前年同四半期比 (%)
SEM事業	381,674	△53.8
クリエイティブ事業	-	-
合計	381,674	△53.8

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
SEM事業	-	-	-	-
クリエイティブ事業	61,618	△27.6	28,649	△72.8
合計	61,618	△27.6	28,649	△72.8

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(4) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
SEM事業	561,910	△51.9
クリエイティブ事業	72,957	△22.2
合計	634,867	△49.7

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。